

目 次

はじめに

第Ⅰ部 高齢者犯罪の現状と高齢受刑者が置かれている劣悪な拘禁環境

第1章 高齢者による犯罪と彼らに対する刑罰

——フランスの議論状況との比較から浮き彫りになる日本の問題点

- 1 高齢者犯罪の背景に関する諸調査 …………… 2
- 2 近時の「高齢犯罪者」像 …………… 5
- 3 日本における高齢犯罪者への対応に存する問題 …………… 6

第Ⅱ部 「侵害最小基準」に基づくフランスにおける高齢犯罪者処遇

第2章 「高齢」であることに基づく刑罰減輕

——明文規定による刑罰減輕から裁判官の裁量による刑罰減輕へ

- 1 重大な犯罪を行った高齢者に対する1791年刑法典ないし1810年刑法典の特例 …………… 10
- 2 高齢累犯者に対する特例——1885年の流刑に関する法律と1970年の刑事後見に関する法律 …………… 14
- 3 高齢犯罪者への拘禁的措置回避に関する明文規定の根源にある見解 …… 18
- 4 明文規定から裁判官の裁量による判断へ——1960年6月4日のオールドナンスによる1810年刑法典の特例の廃止と1980年の刑事後見の廃止、合意

の完全な定着	24
--------	----

第3章 高齢犯罪者に対する拘禁的措置を回避する運用の現状

1 閉鎖施設への拘禁の回避	33
2 近時の高齢受刑者の増加	38
3 性犯罪に対する有罪宣告を受けた高齢受刑者の増加と長期刑受刑者の高齢化	41

第4章 医療的ニーズを有する高齢受刑者を対象とした早期釈放

1 高齢受刑者に対する医療・福祉的対応のあり方に関する議論の登場	54
2 ヨーロッパ人権裁判所2001年6月7日決定による勧告	67
3 治療を理由とする刑の執行停止措置の創設	78

第5章 高齢受刑者に対する早期釈放制度の対象の拡大

1 MARIANIによる2度の議員立法草案	103
2 高齢受刑者の処遇に関する国内人権諮問委員会による意見書	106
3 2009年11月24日の法律82条の制定	107
4 高齢受刑者に対する早期釈放制度の消極的運用	112

第6章 刑罰修正手続きと措置

1 刑罰修正措置	119
2 刑罰修正の許可に向けた手続き	120
3 刑罰修正措置終了に向けた手続き	123
4 措置の内容	124

第Ⅲ部 日本の問題状況と今後向かうべき方向性 ——安全重視から支援重視の高齢受刑者処遇へ

第7章 高齢犯罪者に対する非拘禁的措置に関する過去の明文規定と それに関する議論の欠如

1 高齢犯罪者に対する拘禁的措置と刑務所内処遇の現状	132
2 自由刑執行段階における高齢受刑者への配慮	141

3 高齢受刑者に対する処遇上の配慮	143
-------------------------	-----

第8章 現在の高齢犯罪者に対する非拘禁的措置の消極的運用

1 刑事司法にのせられる高齢者の増加	153
2 統計からみる高齢犯罪者への厳しい対応	158
3 深刻な社会的排除状態にある高齢犯罪者への厳しい対応に存する問題点	162

第9章 刑事施設における高齢受刑者が抱える医療的・福祉的ニーズの軽視

1 高齢受刑者の医療的・福祉的ニーズの多様性と大量性	169
2 高齢受刑者が有する医療的・福祉的ニーズへの不十分な対応	173
3 現在の高齢受刑者への対応の不十分性から生じている悲惨な現実	182

第10章 医療的・福祉的ニーズを有する高齢受刑者への早期釈放の必要性和現行制度の消極的運用

1 高齢受刑者に対する早期釈放制度の積極的適用の必要性	188
2 仮釈放制度および刑の執行停止制度の消極的運用	190
3 「懲らしめ」, 「規律秩序」, そして「安全」の重視による高齢受刑者の拘禁の継続	195

第11章 高齢受刑者の早期釈放の積極的運用を支える諸制度および理念

1 人権規定から要請される高齢受刑者に対する早期釈放の積極的適用	199
2 高齢受刑者の早期釈放の積極的活用を支える諸資源	208
3 今後の課題	213

あとがき